

こころの広場からのお知らせ

(2021年3月15日)

こころの耳（厚生労働省）の「こころの病・克服体験記」より、抜粋したものです。
画像などアレンジしています。

病気(統合失調症)を認めない母との1年間

(キャロット 32歳女性会社員)

父の死と母の変化

5年前に父が亡くなりました。それからしばらくして母（当時54歳）の様子が変わってしまいました。そこから約1年間、母と私の格闘が始まりました。

父が亡くなってすぐはお葬式の準備やらで母も私も忙しかったのですが、お葬式も無事終わってしばらく経ってから、母の様子がだんだん変わっていきました。父が亡くなってから3か月後のことでした。母はその頃から妙なことを言い始めました。外を歩いていると「誰かが私の悪口を言っている」と言い出したり、家の中を何もないうろうろしたりしたのです。最初は本気で本気にせず、「気のせいでしょう」と答えていましたが、母は本気でそう思っていたようです。まさかこれが妄想だとは思いませんでした。



それ以降、ちよくちよく同様のことがあり、私自身仕事もあるため、そんなに母に目をかけることができず、しばらくすれば落ち着くだろうと思いそのままにしていました。しかし、状態はますます悪化し、夜中に急に起きだして「誰かが私を狙っている」などと興奮して、時には暴れることもありました。さすがにこれはおかしいと思い、近くの病院に連れて行こうと思いました。だけど、母は「私はどこも悪くない」と受診を拒み行ってくれず……。そんなやりとりがしばらく続き、これ以上続くと私もどうにかなりそうだったので、風邪気味だから内科に行こうと嘘を言い、何とか受診させることができました。そこで初めて母が統合失調症であるとわかりました。

本当の闘い

何とか病院に行くことができ、母がなぜこのような状態になったのかが分かったことで少し気が楽になりました。後は、もらった薬を飲めばいいと……。しかし、そんな考えはまったく間違いで、それからが本当の闘いでした。

母は薬を飲んでくれませんでした（せつかく薬をもらったのに……）。そして、薬を飲ませるために、連日のように母とケンカするようになってしまいました。次第に私も疲れて、薬を飲ませよう



とすることすらなくなりました。そんなある日、仕事先に一本の電話が入り、母が警察に保護されたという連絡でした。母を引き取る際、警察の方に事情を伺ったところ、母は「誰かが私を殺しにやってくる」と家の近所で騒ぎ立てているところを近所の方が110番通報したそうです。この頃、母の対応で私もかなり不眠や情緒不安定になっており、精神安定剤を飲んでいました。もう何をどうしていいかすらわからず、警察の方に相談したら、一度区に相談してみればと言われました。数日後、区に相談してみたところ、入院治療を勧められました。そこで、最初に受診した病院のドクターに今までの経緯を説明し、入院治療をする流れになりました。当然、母は抵抗することが予想されたので、離れて暮らしている弟に来てもらって、半ば強引に母を病院に連れて行きました。結果、医療保護入院という形で入院することができました。

入院後、しばらくして母も安定してきました。病院ではちゃんと薬を飲んで（飲まされて？）いたので、それが効いてきたのだと思います。入院当初は閉鎖病棟という自由に出入りできないところでしたが、薬が効いてからは母も落ち着きを取り戻し、病気であることを自覚するようになったため、開放病棟に移ることができました。入院から1か月ほど経った時のことでした。まだ、初期の症状だったため、早期の回復に繋がったとドクターからは言われました。落ち着いてからは、病院内にあるデイケアや作業療法に参加していました。デイケアでは、他の患者さん達とゲームをしたり、作業療法では園芸で作物を育て、収穫し、調理して食べたりしていました。そして、入院から2か月くらい経ったとき、ドクターから退院の許可が下りました。退院時の母の顔は入院時に比べかなり穏やかな顔をしていました。あの時、母も苦しかったんだと改めて思いました。

入院治療から退院、リハビリへ

入院後、しばらくして母も安定してきました。病院ではちゃんと薬を飲んで（飲まされて？）いたので、それが効いてきたのだと思います。入院当初は閉鎖病棟という自由に出入りできないところでしたが、薬が効いてからは母も落ち着きを取り戻し、病気であることを自覚するようになったため、開放病棟に移ることができました。入院から1か月ほど経った時のことでした。まだ、初期の症状だったため、早期の回復に繋がったとドクターからは言われました。落ち着いてからは、病院内にあるデイケアや作業療法に参加していました。デイケアでは、他の患者さん達とゲームをしたり、作業療法では園芸で作物を育て、収穫し、調理して食べたりしていました。そして、入院から2か月くらい経ったとき、ドクターから退院の許可が下りました。退院時の母の顔は入院時に比べかなり穏やかな顔をしていました。あの時、母も苦しかったんだと改めて思いました。



現在、発病して1年ほど経ちますが、今も定期的に通院しながら服薬とデイケアなどに通っています。前に比べたら家事などもうまくできていないようですが、それでも発病したころに比べたらか

なりできるようになりました。今はリハビリの毎日です。今回の件で、改めて早期発見・早期治療の大切さを痛感しました。今後は、再発しないよう母と一緒に頑張って生きていきたいと思います。